

パレスチナ自治政府
地方自治庁

パレスチナ
第二次ごみ処理機材整備計画
基本設計調査報告書

平成 18 年 12 月
(2006 年)

独立行政法人 国際協力機構
(JICA)

八千代エンジニアリング株式会社

序 文

日本国政府は、パレスチナ自治政府の要請に基づき、同政府の第二次ごみ処理機材整備計画にかかる基本設計調査を行うことを決定し、独立行政法人国際協力機構がこの調査を実施しました。

当機構は、平成17年11月27日から12月28日まで基本設計調査団を現地に派遣しました。

調査団は、パレスチナ自治政府関係者と協議を行うとともに、計画対象地域における現地調査を実施しました。帰国後の国内作業の後、ここに本報告書完成の運びとなりました。

この報告書が、本計画の推進に寄与するとともに、両政府の友好親善の一層の発展に役立つことを願うものです。

終りに、調査にご協力とご支援をいただいた関係各位に対し、心より感謝申し上げます。

平成 18 年 12 月

独立行政法人 国際協力機構
理 事 黒 木 雅 文

伝 達 状

今般、パレスチナ自治政府における第二次ごみ処理機材整備計画基本設計調査が終了いたしましたので、ここに最終報告書を提出いたします。

本調査は、貴機構との契約に基づき弊社が、平成17年11月より平成18年3月までと平成18年11月から12月までの合計4.5ヵ月にわたり実施いたしてまいりました。今回の調査に際しましては、パレスチナの現状を十分に踏まえ、本計画の妥当性を検証するとともに、日本の無償資金協力の枠組みに最も適した計画の策定に努めてまいりました。

つきましては、本計画の推進に向けて、本報告書が活用されることを切望いたします。

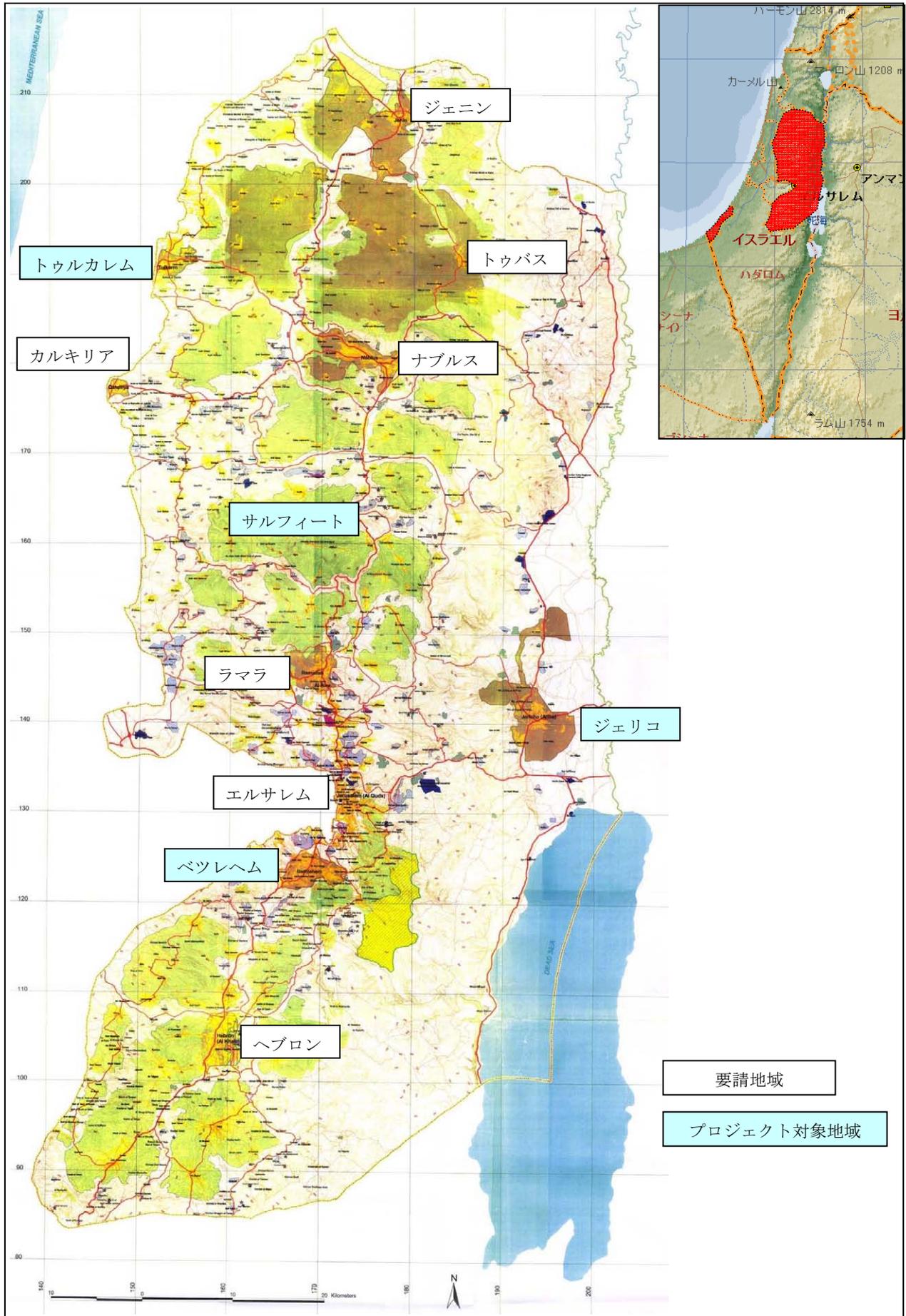
平成18年12月

八千代エンジニアリング株式会社

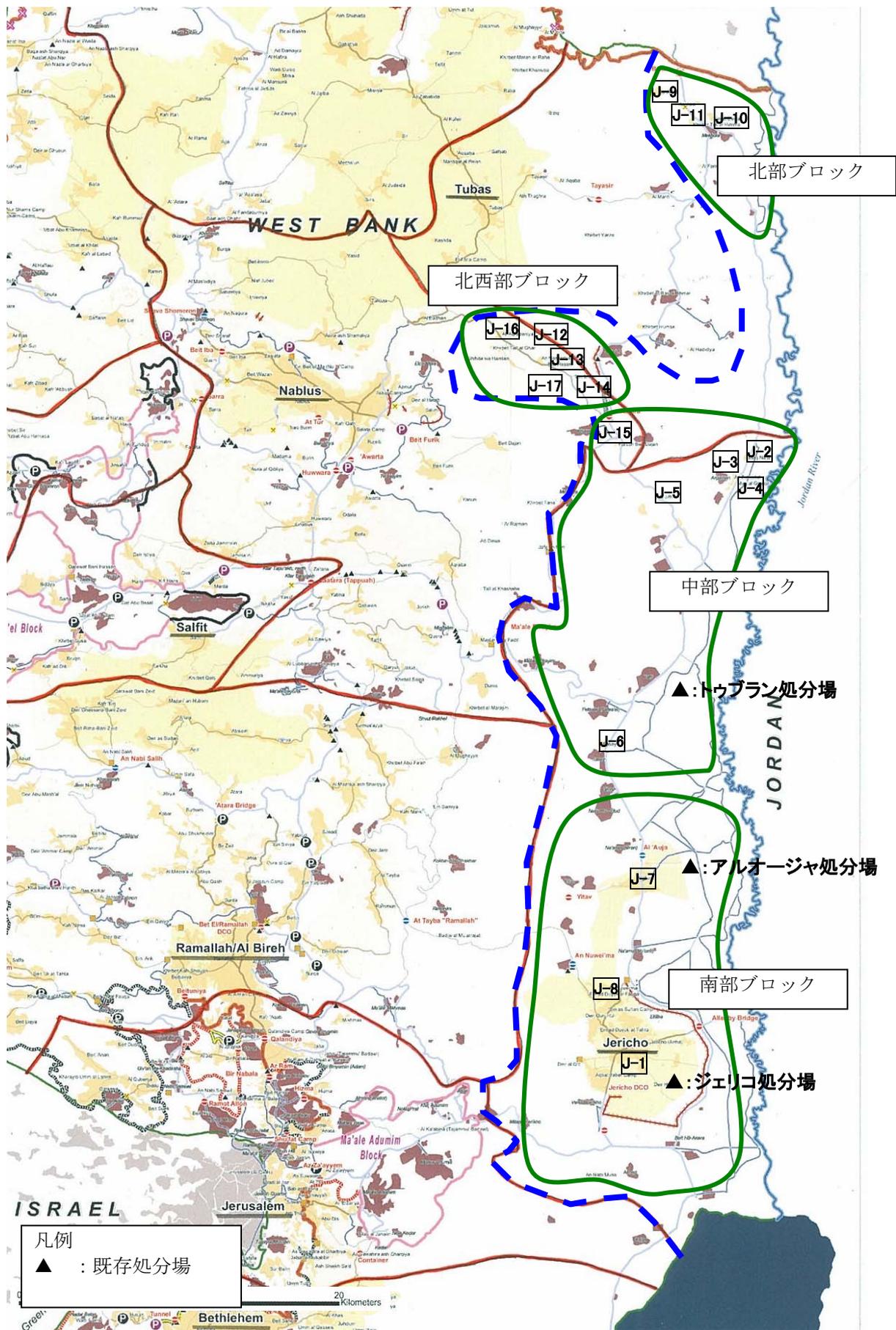
パレスチナ

第二次ごみ処理機材整備計画基本設計調査団

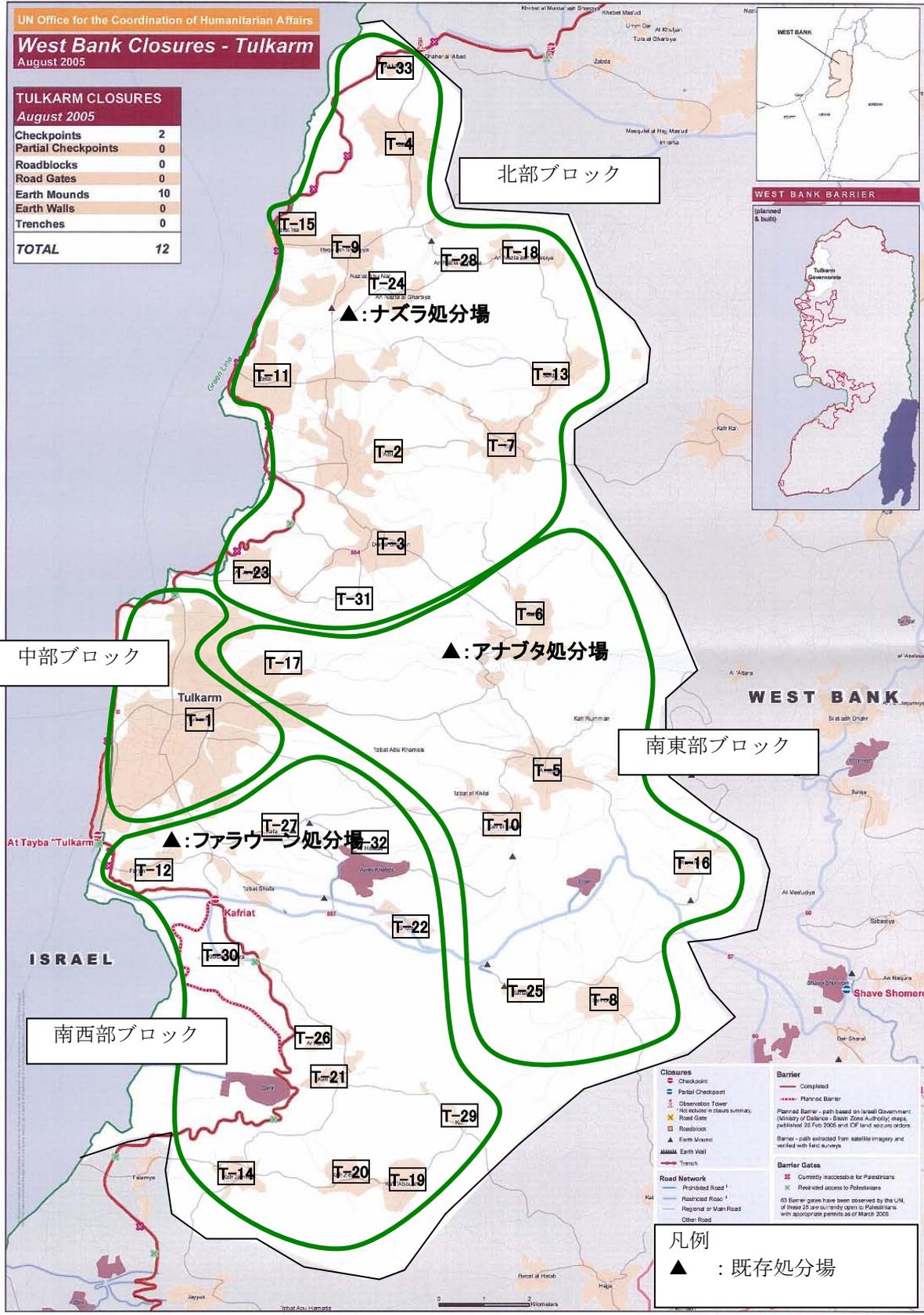
業務主任 藤井 克巳



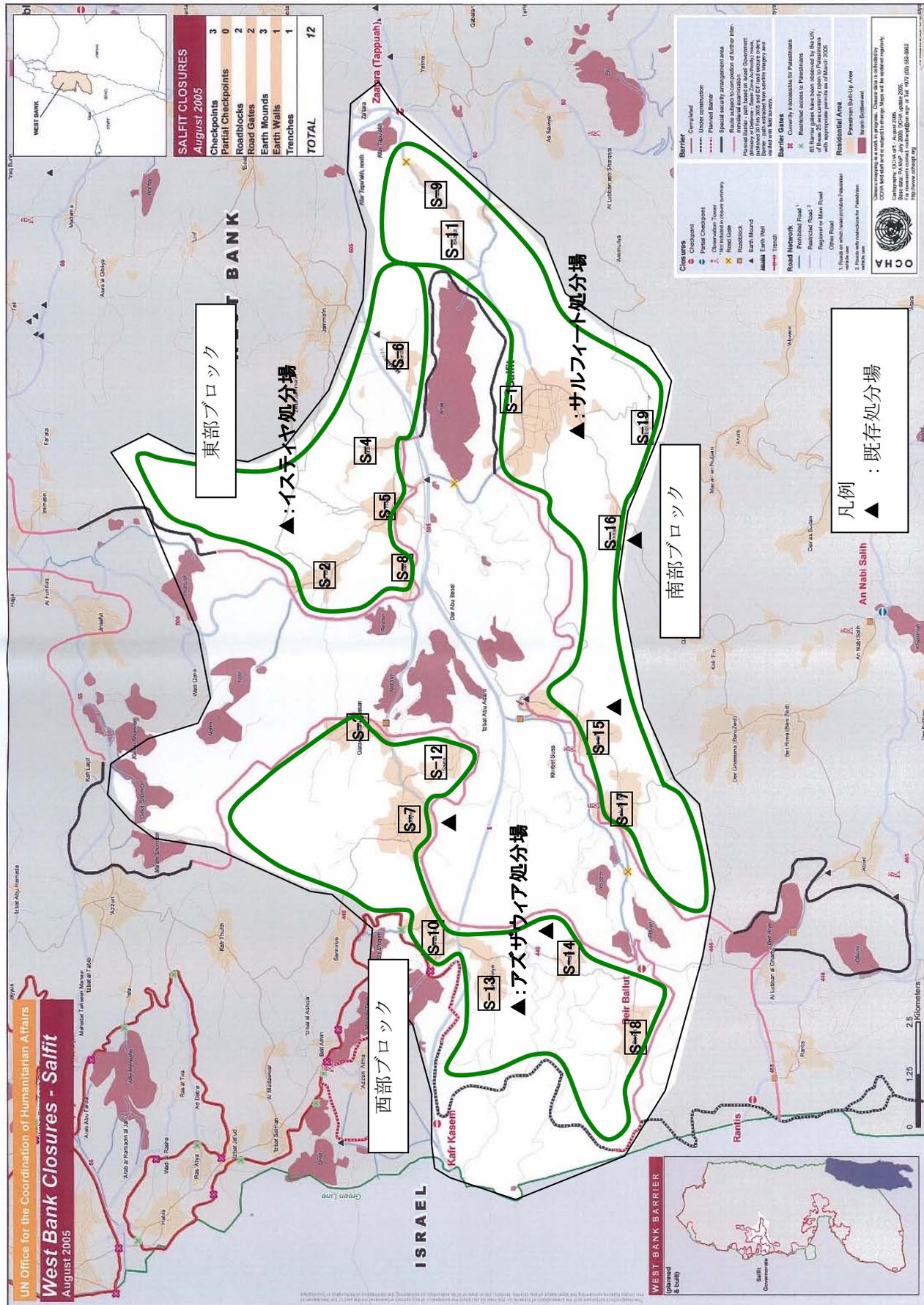
プロジェクト対象地域位置図



サイト位置図 (ジェリコ JCspd)



サイト位置図 (トウルカレム JCspd)



サイト位置図 (サルフィート JCspd)

(1) ジェリコ及びヨルダン溪谷 JCspd



1.1m³コンテナ

ジェリコ市内には、1.1m³コンテナが約30個ある。



コンテナ周辺のごみの散乱状況

コンテナの周辺にごみを放置しているケースが多く見られる。



ごみ収集の状況

市内に約15個の4m³コンテナが配備され、専用車で収集している。



ワーショップ

面積は、10,000m²あり、収集車の車庫も兼ねている。



最終処分場

容積を減らすために、ごみに火がつけられている。



日本国無償のコンパクター車 デューク

日本の無償資金協力コンパクター車で、効果的に使用されている。

(2) トウルカレム JCspd



4m³コンテナ

マーケット内に配備されているが周辺にごみが散乱している。



収集作業

4m³コンテナを持ち上げ、ごみを積み込んでいる。



既存機材

13m³コンパクター車



収集作業

1.1m³コンテナを持ち上げ、ごみを積み込んでいる。



日本国無償のトラックローダ

調査時は修理中であったが、効果的に使用されている。



最終処分場

容積を減らすために、ごみに火がつけられている。

(3) サルフィート JCspd



ごみの収集作業

1.1m³コンテナを持ち上げ、ごみを積み込んでいる。



ごみの収集作業

日本国無償資金協力のコンパクトカー車がごみを積み込んでいる。



既存機材 (13m³コンパクトカー)

スペインが供与した。スペアパーツの入手が問題となっている。



ダンピング作業

最終処分場でダンピングする様子。



ブルキーン処分場

容積を減らすために、ごみに火がつけられている。



サルフィート最終処分場

谷にごみが落ちている。

(4) ベツレヘム JCspd



収集作業

1.1m³コンテナを持ち上げ、ごみを積み込んでいる。



コンテナ代用品

コンテナが不足しており、小さなドラム缶を代用している。



コンパクト車

日本国無償資金協力のコンパクト車、効果的に使用されている。



既存機材

コンパクト、コンテナ輸送、給水タンク兼用車。



最終処分場

ダンピングの様子 ザアタ



最終処分場

容積を減らすために、ごみに火がつけられている。